



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

7月号 JUL 2020

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

7月24日はオリンピック開会式！！ だったよね。



TOKYO 2020



TOKYO 2020

2020年、早くも後半戦に入ってしまった。新型コロナがなければ7月24日には晴々と東京オリンピックの開会式が開催されていたはず。今頃、海外からの観光客が大挙して訪日し、日本全国が活気にあふれ、経済活動も活発であったことと思われます。そんな、たら、れば、のことを考えて、現実に戻ると…。強い気持ちで前を向いて精一杯頑張らなければいけない！と強く思います。

完全に以前の通りというわけではありませんが、人の動きとしては少しずつですが戻ってきたようです。移動制限も解除され徐々に経済も動き始めています。とはいえ、完全に戻ることは暫くないように思います。新しい生活様式に順じた、新しいチャレンジを私どももしていかなければなりません。

玉葱については、判断が非常に難しい年となっています。19年北海道産の豊作により、通常であれば3月頃には切りあがる北海道産玉葱が、6月時点でも小売店で販売されているのを見かけました。かつてなかった光景です。更に府県産の玉葱については比較的豊作傾向とはなっていました。供給量としては過剰気味で推移していたものと思われます。

更に、マルト便でもこれまでご報告をさせて頂いている通り、品質の不良が府県産早生種では散見されていました。折からのコロナ禍により、学校給食や業務加工向けの玉葱が動かなくなったこともあり、市場相場が大きく崩れました。その影響で佐賀県では5月中旬以降、玉葱の出荷調整を実施。その規模は凄まじく、11,000+の規模となりました。これはものすごく大きな数字です。参考までですが、玉葱生産量の多い県ベスト10のうち、第7位の静岡県が11,000+程の生産量となっています。全国7位の県の生産が全部無くなった、廃棄したと考えるとその規模の大きさがわかります。近年、青果物の需要において、青果向けと業務加工向けの比率が逆転したということが言われていました。玉葱は業務加工での需要が59%に上ると言われています。コロナ禍の中で、業務加工向けが大きく停滞したこと、もともとの供給量自体も多かったこと、更に品質面の低下等、あらゆる面で玉葱流通には良くない状況が重なったのが本年であると思います。現在出荷調整によって市場相場はある程度回復していますが、産地によって明暗がはっきりしてしまっているような気がします。小売り向けはある程度順調に推移した中、玉葱産地においても、青果向け出荷が可能な産地は順調に動いているようですが、業務加工向けに特化した産地様は非常に苦戦をしている状況であるという情報が多々入っています。また、先述の通り、品質面も今年は良い状況ではありません。軟腐病が各産地で散見されます。現在弊社では複数の府県産地様の玉葱が入荷しておりますが、各産地例年より品質は劣る状態です。

7月に入り、早生系統の玉葱が終了となり、今後は貯蔵タイプの玉葱の入荷となります。対応産地が限られてくることもあり、一転して数量としては少なくなる見込みです。市場相場もこじっかりと動くことが予想されます。弊社原料仕入れでは、産地供給量が減少する中、品質の良い玉葱を産地様より供給頂けるようにしっかりとコミュニケーションをとって参ります。

剥き玉葱の生産出荷につきましても、まだまだコロナ前の数量には戻っておりません。少しでも丁寧な製造に努め、皆様にご満足いただける品質の商品、サービスを追求して参ります。また、キャベツやニンジン、長ネギやパセリ、キュウリ。玉葱以外の青果物、カット野菜対応もさせて頂いております。「玉葱以外にもやったの??」というお声をたまにいただきますので、今回は積極的にアピールさせて頂きます(笑)

青果物に関するお困りごとがございましたら、マルト商事に何なりとお申し付け頂きますようお願い申し上げます。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

都道府県境を超える移動の制限も解除されて、経済活動も動き出しました。週末には百貨店やショッピングモールでも人で混み合うようになりました。しかし、東京を中心に感染者が増えている状況が続いており、元のような日常を取り戻せるには、まだまだいぶ時間がかかりそうです。そんななかで、企業はこれまでとはちがったやり方で、自社の商品やサービスが認められるような努力が必要なのかも知れません。

東京都国立市にスターバックスが健聴者と聴覚障害のある従業員が共に働き、「手話が共通言語」となる店舗をオープンするそうです。聴覚に障害のある従業員を中心に指さしや手話などで接客、国内では5初めてで世界では5番目。壁には簡単な手話の表現を描いた絵が並び、参考にしながら手話を知らない顧客も手話や指さしでコミュニケーションが取れるようになっていきます。働く人の多様性を認めることを店舗で、顧客も参加するように仕向ける、さすがスターバックスだなと思います。スターバックスでコーヒーを飲むことが、社会的に意義のある活動であると感じられるのは、大いに共感をもたれるはず。

暑い日が続く今の時期、どの家の冷蔵庫にもペットボトルに入った冷たい飲み物は欠かせません。飲み終わった後のペットボトルを資源ゴミとして出すとき、フィルムをはがしますが、これがけっこう面倒くさいと感じています。上手くはがせることもあります。メーカーによっては、ハサミを使うことになったりして思ったより時間がかかることも。私でもそうですから、力が弱ったお年寄りだとなおさらだろうと思うこともあります。そんなときに、膝を叩いて納得するような記事を読みました。フィルムのはがしやすさまでチェックして、ペットボトル飲料を選んでいる70代の女性の話でした。

その女性は味や品質、値段だけでなく使用後にゴミとして分別する際の手間まで考えて購入を決めています。シニアになると爪が厚くなったり、逆に薄くなってしまったりする人が多く、指に力が入らないので、ミシン目の入ったフィルムを取りのがすのがそれほど簡単ではないそうです。さらにはハサミの先でフィルムのミシン目を浮かそうとすると、ケガをしそうで怖い。もう少しはがしやすく、表示も大きくてわかりやすいと「この商品はフィルムをはがしやすいペットボトル」だと好感を持ってもらえるはず。

スターバックスの聴覚障害のある従業員が手話や指さしで接客をするお店、シニアがペットボトルのフィルムをはがしやすくするような商品への工夫、このどちらもこれまではあまり注目されてこなかったタイプのコミュニケーションです。新型コロナウイルスの影響でまだまだ不自由を強いられるこれからの時代に、このような社会に意義のある取り組みが、これからの企業には大切なのだと思います。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。

<http://www.kino-company.com>

7月 玉葱商品産地情報

| 産地 | | 状況 |
|--------|------------|-----------------------------|
| 国産黄玉葱 | 佐賀 宮城 富山 他 | 品質は落ち着いてきました 東北北陸産地はこれから入荷！ |
| 輸入黄玉葱 | NZ | — |
| 中国剥き玉葱 | 山東省 | 品質・サイズともに良好です 供給過多気味です |
| 国産赤玉葱 | 兵庫 | 品質若干弱いですが 加工気を付けて対応致します |
| 輸入赤玉葱 | AUG | 品質面問題ありません 国産からの切り替えも選択肢 |

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315